ご挨拶

矢野達雄

私は、憲法９条をまもる愛媛県民の会の代表委員の１人で、矢野と申します。

本日の「輝け憲法九条―小田実さんと平和を考えるつどい」は、「にいはま憲法九条をまもる市民の会」と「憲法９条をまもる愛媛県民の会」の共同開催ということになっております。開会に先立ち、憲法９条をまもる愛媛県民の会を代表してひとことご挨拶申し上げます。

一昨年の 2004 年 6 月 10 日、今日ご来場の小田実さんをはじめとする各界で著名な 9 名の方々のよびかけで「九条の会」が発足したことは全国的に知られております。その 9 日後の 6 月 19 日に、私たちの「憲法９条をまもる愛媛県民の会」も発会しました。

それ以後、「県民の会」も総会や例会を開いた際に、多彩な論者を招き講演会を催してまいりました。参会者から寄せられた要望のうちもっとも多かったのが、中央の「九条の会」から講師を招いてほしいというものでした。私たちもかなり努力して参りましたが、いずれもお忙しい方たちばかりで今日まで実現できませんでした。ところが本日、9 名のうちから小田実さんにお話いただけることになり、念願がかなったわけです。また来月 8 日には、「県民の会」第 3 回総会が開かれますが、やはり「九条の会」から記念講演として鶴見俊輔さんにお話願う予定になっており、いわばたてつづけに、宿題を果たすような気分です。

ところで、小田実さんといえばすぐに「ベ平連（ベトナムに平和を市民連合）」の活躍が思い浮かびますが、本日の会のチラシの裏側に、じつは「ベ平連」は鶴見さんが小田さんに呼びかけたのがはじまりとのエピソードが載っておりました。鶴見さんによると「アラジンのランプよろしく忠実な魔人を呼び出したつもりでいたところが、こちらを使う巨人を呼び出してしまった」と言っておられたそうです。因縁の深いご両人にあいつで愛媛に来ていただくのは、何かの縁かなと考えております。

さて、「九条の会」も「県民の会」も、憲法が危ないという危機感から何とかこれをストップしようという有志の呼びかけによって運動が始まったのは、軌を一にしていると思います。それから約 2 年が経過しましたが、風雲はさらに急を告げております。自民党は、昨年 11 月 22 日に結党５０周年大会を開いて新憲法草案を正式発表しました。憲法「改正」に向けて、ルビコン河を渡ったといえましょう。今年 5 月には国民投票法案が国会史上はじめて上程されました。

しかしこのような憲法「改正」策動に抵抗する国民の動きも顕著になってき

ております。岩国の住民投票をはじめ各地で、傍若無人な米軍再編策動に対する住民の反対運動も盛り上がっております。「九条の会」の呼びかけ後、全国で九条の会の結成があいつぎ、現在では全国で 5174 に達したそうであります。

この愛媛の地でも、40 を超える９条の会が誕生しております。また今年の５・3 愛媛集会は、思想・信条の違いを超えた統一集会として、県民文化会館で 1500 名の参加者を得て開かれました。改憲を阻止する過半数の反対派の結集を目指した取り組みが進んでおります。

このような時機に、平和運動の大先輩であり、かつ今日の「九条の会」の呼びかけ人でいらっしゃる小田さんのお話を皆さんと一緒にうかがって、私たちの運動の今後の道標にさせていただきたいと考えております。

（2006 年 6 月 11 日）